県かこ 兵庫県立加古川医療センター
地域医療連携ニュース
vol.128
2025年
8.9月号

発　行：兵庫県立加古川医療センター　〒675-8555 加古川市神野町神野 203 番地　http://www.kenkako.jp/
ＴＥＬ：079-497-7000(代表)　ＴＥＬ：079-497-7011(地域医療連携部直通)　ＦＡＸ：079-438-3756(地域医療連携部直通)

もくじ

- 地域医療連携会議 …… 1
- 糖尿病・内分泌内科 …… 2
- 総合内科 …… 3
- 消化器内科 …… 4
- 皮膚科 …… 5
- 研修医紹介 …… 6
- チーム医療（ＩＣＴ） …… 7
- 外来診療表 …… 8

第20回 地域医療連携会議を開催しました！

2025年７月17日（木）に当センターで地域医療連携会議を開催しました。
あいにくの雨天にもかかわらず、近隣の医療関係者141名の方にご参加いただきました。
第１部では田中宏和院長の挨拶、その後に加古川医師会長の水野正之様よりお言葉をいただき、今年度から開設した障害者病棟の紹介を含む、３つの講演を実施しました。

神経難病センター長兼脳神経内科部長　奥田志保医師より
「神経難病のリハビリテーション入院の本稼働について」

パーキンソン病の県内地域の有病率や当院での神経難病のリハビリ入院の概要、地域の診療所との連携について情報提供をしました。

副院長兼整形外科部長・脊椎外科センター長　高山博行医師より
「骨粗鬆症と脊椎椎体骨折：骨折の連鎖を防げ！」

骨粗鬆症による脆弱性骨折（大腿骨近位部骨折、脊椎椎体骨折）の連鎖や生命予後へ及ぼす影響に加え、病院間で連携して継続治療に取り組むことの大切さをお伝えしました。

リウマチ膠原病センター長兼リウマチ科部長・整形外科部長
中川夏子医師より
「当院リウマチ膠原病センターの取り組み：医療連携の必要性」

リウマチ膠原病センターの沿革、リウマチ教室におけるチームの専門的な取り組みやリウマチの薬物治療と手術の新たな方向性について説明しました。

第２部では、診療部との交流会とドクターヘリ・ドクターカーの内覧を行いました。各診療科紹介ブースでポスターの掲示、新体制となった障害者病棟への入院についての質問など、診療科の医師と対話を通して交流を深めました。そして、ドクターカー・ドクターヘリの内覧では３次救急医療の提供を担う当センターの活動を知っていただく良い機会となりました。

会議の当日は、ご多忙のところ多くの方にご参加いただき、有り難うございました。診療体制が縮小となる中でも、「県加古で診てほしい」と思っていただけるよう地域医療の貢献に向けて取り組んでいきます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

糖尿病・内分泌内科

生活習慣病センター長、糖尿病・内分泌内科部長　田守義和

生活習慣病から内分泌疾患まで―“相談できる窓口”として

糖尿病内分泌内科の特徴は、常勤医師11名（うち糖尿病専門医６名、内分泌専門医６名、肥満症専門医１名）という充実したスタッフ体制にあります。糖尿病はもとより、バセドウ病や橋本病などの甲状腺疾患、原発性アルドステロン症・クッシング症候群・褐色細胞腫といった副腎疾患、さらには下垂体疾患に至るまで、内分泌領域全般を幅広くカバーしています。地域では数少ない、高度な専門的診療が可能な施設です。

糖尿病診療

近年著しく進歩している持続血糖測定（CGM）をはじめ、１型糖尿病患者さんにはインスリンポンプ療法を導入し、良好な成果をあげています。糖尿病教育入院も含め、来院された患者さんに満足いただける質の高い糖尿病診療の提供を目指しています。

内分泌診療

下垂体、甲状腺、副腎、性腺などの内分泌疾患に対して、地域の先生方からご紹介いただいた患者さんに対し、専門的な検査・評価・治療方針の立案から実際の治療まで、一貫した対応が可能な体制を整えています。

肥満症診療

週３回の肥満症外来を開設し、看護師・管理栄養士・理学療法士から成る支援チームによる食事療法、運動療法、行動療法を組み合わせた多角的なアプローチを行っています。十分な減量効果が得られない患者さんには、新規の肥満症治療薬による積極的な介入も行っています。

糖尿病や内分泌疾患は、初期には自覚症状に乏しく、気づかれないまま進行してしまうことがあります。また、肥満症は生活習慣病と密接に関連していますが、効果的に減量を達成することは容易ではありません。当科では、こうした「見えにくい疾患」や「治療が難しい肥満症」を、地域の先生方と連携しながら適切に拾い上げ、的確な治療へとつなげていく“地域密着型の専門医療”を目指しています。

総合内科の紹介

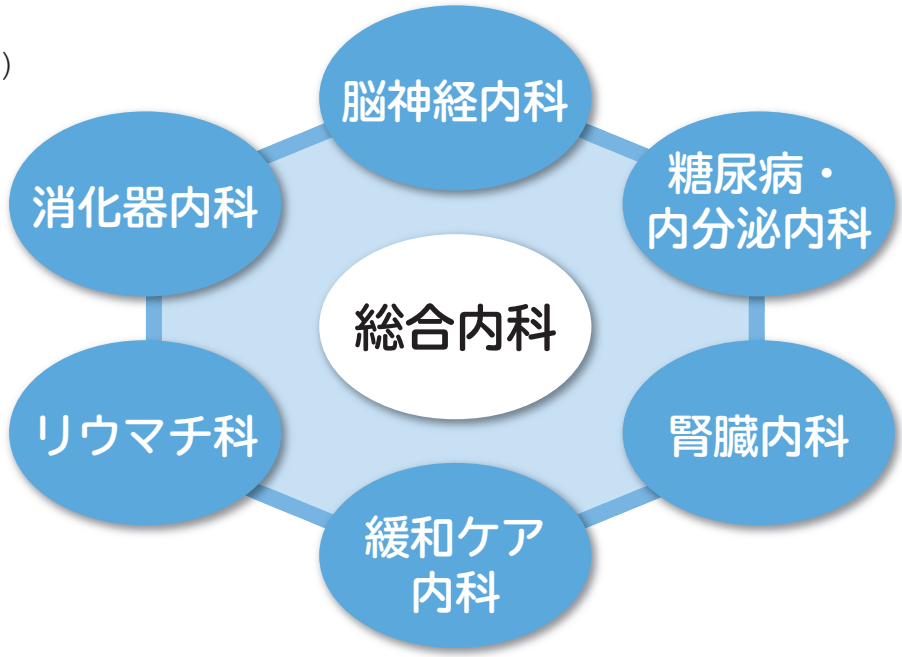
総合内科部長　**中村幸子**

～その特色と本年度の総合内科～

総合内科は、内科の一部門として、発熱などの一般的な内科的症状のある患者さんへの救急対応、内科のどの診療科に紹介すればよいかわからない患者さんの窓口としての機能、複数の内科疾患を持つ患者さんへの対応をしています。総合内科のスタッフ数、入院可能病床は昨年度と増減ありません。

当院の内科は、消化器、糖尿病・内分泌、腎臓、脳神経、リウマチ・膠原病、緩和と専門科が分かれており、より専門性の高い治療や検査を必要とする際には、専門医と連携し、適切な診断、治療を行います。（図１）

（図１）



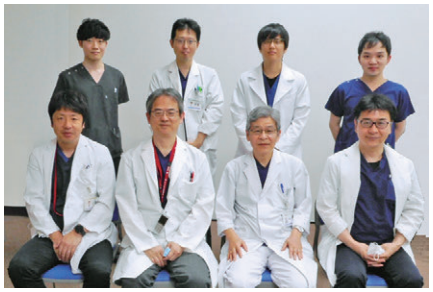
～地域医療機関の先生方へ～

内科の各専門領域にあてはまらず、一般内科的な診療を希望される症例であれば、総合内科にご紹介ください。初診予約を頂き経過をお教え頂けると、患者さんをお待たせすることなくスムーズに診療できますので、よろしくお願いします。一般内科領域での急な病状悪化や緊急入院などには、できるだけ対応させて頂きますので、ご連絡頂ければと存じます。病状が安定すれば、ひき続き先生方で継続御加療をお願いすることも多く、よろしくお願い致します。

■総合内科スタッフ

中村　幸子	平成14年卒
大北　弘幸	平成17年卒
藤田　泰功	平成23年卒
石田　育大	平成24年卒
山室　紘	令和３年卒

消化器内科



副院長兼肝疾患センター長兼消化器内科部長　**廣畑成也**

＜特色＞

消化器内科は現在常勤スタッフ7名、専攻医1名で診療を行っています。スタッフは全員消化器病学会専門医を取得しており、より高度な診療を提供できるように心がけています。一昨年度末で尹副院長が退職されましたが、引き続き非常勤医師として週2回外来・検査をされています。

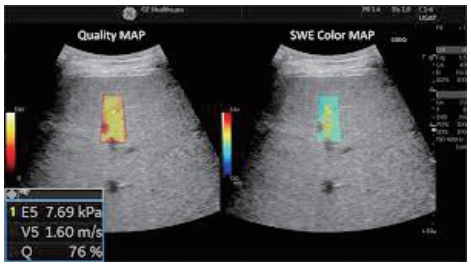
＜トピックス＞

●肝がんの要因が大きく変化しています

従来、我が国の肝癌の原因はC型肝炎、B型肝炎が主体でしたが、近年抗ウイルス療法が進歩し制御可能になったことからウイルス性肝炎由来の肝癌が年々減少しており、代わって脂肪性肝疾患由来の肝癌が増えてきています。昨年新しい脂肪性肝疾患の定義が提唱されました。①脂肪肝がある　②BMI23以上または糖尿病、脂質異常、高血圧などの代謝障害がある　③アルコール歴や他の肝疾患原因の有無は問わない群を、「リスクの高い脂肪肝」として、「代謝性機能障害に伴う脂肪肝（Metabolic dysfunction Associated Steatotic Liver Disease：MASLD）」と定義されました。これらは心血管イベントリスクであるメタボリックな因子を伴うリスクの高い脂肪肝を拾い上げているのが特徴で、肝疾患（肝癌、肝硬変）だけでなく身体全体の予後を意識した疾患定義です。

●最新の腹部超音波検査が可能です

慢性肝炎から肝硬変に至るにつれ線維化が進行し肝発癌リスクが増加します。以前から当科では線維化の評価を肝生検を中心に行ってきましたが、肝生検に代わる非侵襲的な検査として通常の超音波検査の中で線維化の程度を数値化して診断しています（SWE：Shea Wave Elastography）。また脂肪肝の評価も同時に数値化して評価できます（UGAP：Ultrasound-guided attenuation parameter）。これにより脂肪性肝疾患の線維化、脂肪肝の程度を外来で短時間に評価できるようになりました。今年度は機器更新で最新機器3台体制で検査可能となり、より多くの肝疾患患者さんの長期に渡る評価を非侵襲的に、客観的に行うことができるようになりました。



<超音波エラストグラフィー検査>

＜地域医療機関の先生方へ＞

今後とも、緊急例、診断困難例はもちろん、検査のみのご要望でも積極的に対応してまいります。ALTが30を超える患者さんがおられましたら遠慮なく外来へご紹介ください。また上部内視鏡検査をお急ぎの時に「当日胃カメラ枠」もご利用いただければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

■スタッフ紹介

廣畑　成也　昭和60年卒
副院長（診療担当）兼肝疾患センター長兼消化器内科部長

垥本　喜雄　平成6年卒
部長（内視鏡・超音波担当）兼内視鏡センター長兼消化器内科部長

田村　勇　平成14年卒
消化器内科部長

白川　裕　平成18年卒
消化器内科医長兼内視鏡センター副センター長

安冨　栄一郎　平成21年卒
消化器内科医長兼肝疾患センター副センター長

森口　知憲　平成31年卒
消化器内科医長

河原　慎一郎　令和２年卒
消化器内科専攻医

布目　聖　令和5年卒
消化器内科専攻医

尹　聖哲　昭和57年卒
非常勤　肝疾患センター顧問

■ 検査・治療件数（2024年度）

上部消化管内視鏡検査	2,704
緊急内視鏡（止血術含む）	96
緊急止血術	51
食道静脈瘤治療（EVL・EIS）	31
内視鏡的粘膜下層切開剥離術（ESD）	45
胃瘻造設術	16
下部消化管内視鏡検査	1,752
止血術	35
ポリープ切除術（EMR&ポリペク）	416
内視鏡的粘膜下層切開剥離術（ESD）	38
ERCP	206
胆道ドレナージ(ERBD/ENBD)	124
胆管結石砕石・除石術	54
EUS	97
EUS-FNA	11
小腸カプセル内視鏡	7
腹部超音波検査	3,410
造影腹部超音波検査	59
肝生検	40
経皮的肝ラジオ波焼灼術（RFA）	17
経カテーテル的肝動脈塞栓療法	39
肝癌化学療法導入	10

皮膚科

皮膚科部長　**川田 裕味子**

東播磨地域の皮膚科基幹病院として、一般的には外来中心の診療科ですが、緊急・入院対応を積極的に行っています。

■ 当科の特徴

- アレルギー、薬疹、天疱瘡・類天疱瘡など自己免疫性水疱症、脱毛症、アトピー性皮膚炎・乾癬などに代表される炎症性皮膚疾患、皮膚感染症、皮膚腫瘍、褥瘡などの皮膚潰瘍、と多岐にわたる皮膚疾患に対応しております。
- 東播磨のみならず播磨地域全域より、皮膚科だけではなく内科や歯科など他科からも、非常に多くの患者さんのご紹介をいただいております。
- 入院を要する症例への対応を積極的に行っています。
- 皮膚病理やアレルギー検査など、治療の前提となる皮膚科診断学にも力を入れています。

■ 当科からのお知らせ

近年、乾癬・アトピー性皮膚炎・結節性痒疹、特発性慢性蕁麻疹、円形脱毛症などの皮膚疾患の病態解明が進み、生物学的製剤をはじめとする治療効果の高い分子標的薬が数多く登場しました。それにより、難治性・慢性の皮膚疾患の治療が飛躍的に進歩しました。長年改善がなく治療をあきらめていた患者さんにとって、希望をもって治療に臨んでいただける時代になってきました。当科では、積極的に新規治療を導入し、対応しております。また、患者さんの通院の便を考え、近隣の皮膚科との連携を行っている治療もあります。しかし、新規治療は高額なものが多いため、従来からの治療も選択肢に入れ、個々の患者さんの背景を考えた最適な治療を提供できるよう努めております。

■ 2025年度スタッフ

川田　裕味子	皮膚科部長	平成16年卒
竹内　千尋	皮膚科医長	平成25年卒
南　裕介	皮膚科医長	平成29年卒
永松　直樹	皮膚科専攻医	令和３年卒
稲守　彩	皮膚科専攻医	令和４年卒

2025年 研修医紹介

安達 智哉（あだち ともや）

研修医1年目の安達智哉と申します。日々の臨床経験を大切にし、確かな知識や技術、柔軟な対応力を身に付けられるよう、研鑽に励んでいく所存です。まだまだ未熟ですが、今後ともよろしくお願いいたします。

池田 瑞希（いけだ みずき）

池田瑞希と申します。鳥取大学出身で、小児科志望です。ポケモンと麻雀が好きで、趣味を通じて交流できたら嬉しいです。よろしくお願いいたします。

井上 瑠璃（いのうえ るり）

研修医１年目の井上瑠璃と申します。大学時代は愛媛県で過ごし、この度加古川で初期研修させていただく運びとなりました。地元兵庫県の医療に携われることを大変嬉しく思うとともに、少しでも地域の医療に貢献できるよう日々精進してまいります。

深田 真輝（ふかた まさき）

研修医1年目の深田真輝です。出身は姫路市で広島大学を卒業し、初期研修に際して兵庫県に戻ってまいりました。まだ、若輩者ではございますが、将来は地元兵庫県の医療の一端を担っていけるように頑張っていく所存です。

山田 祐暉（やまだ ゆうき）

研修医1年目の山田祐暉と申します。大学時代を徳島県で過ごし、この度、地元兵庫県に戻って研修させていただくことになりました。地域の皆様のお力になれるよう、感謝して励んでまいります。よろしくお願いいたします。

鷲尾 遙香（わしお はるか）

研修医1年目の鷲尾遙香と申します。大学時代は香川でのびのびと過ごしました。この度、地元の兵庫県に戻り、加古川にて研修させていただくことになりました。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

池澤 朋亮（いけざわ ともあき）

研修医２年目の池澤朋亮と申します。昨年度に引き続き、指導医の先生方やスタッフの皆様に支えられながら多くの事を学ばせて頂いております。まだまだ未熟ですが、少しでも早く地域の医療に貢献できるよう日々精進してまいります。よろしくお願いします。

石田 貴大（いしだ たかひろ）

初期研修医2年目の石田貴大と申します。当院での研修生活も気づけば残るは半年となっており、時間の流れに驚いています。毎日充実した研修生活を送れていることに上級医をはじめとし、職員の皆さまに感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。

裏井 真歩（うらい まほ）

加古川医療センター研修医2年目の裏井と申します。大学は鳥取でしたが、地元の医療に貢献したいと思い、兵庫県に戻ってきました。皆様の健康に少しでもお役立てできるよう、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

忽那 綾乃（くつな あやの）

研修医２年目の忽那綾乃です。出身は加古川市です。大学は鳥取大学で、就職を機に加古川に戻ってきました。今年も皆様のお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

日野 亮子（ひの りょうこ）

初期研修医２年目の日野亮子と申します。上級医の先生方の丁寧な指導、コメディカルの方々に支えられ、充実した研修を行うことができております。今後も加古川の医療に貢献できるよう、精一杯努めてまいります。

チーム医療の紹介：ICT

～ICTとは～

ICTとは、インフェクションコントロールチーム（Infection Contorol Team）の略です。院内感染対策委員会の実働部隊である感染対策チームとして患者さんや家族、委託業者、医療従事者など医療関連施設を利用する全ての人々を感染症から守るために活動しています。

～ICTメンバー～

ICTは組織横断的に活動を行います。そのため、メンバーは医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師、事務職員と多職種で構成されています。

～ICTの活動～

①ミーティング

毎週ICTミーティングを開催しています。ミーティングでは、院内の耐性菌検出状況の共有や広域抗菌薬の使用状況の確認、院内の感染症発生状況など感染管理に関する様々な情報の共有や感染対策の検討などを行っています。

②ラウンド

ICTメンバーでラウンドを行い、病院内の環境や廃棄物分別の確認、手指衛生や経路別感染対策の実施状況などを確認しています。

③研修会の企画・開催

全職員が感染対策の正しい方法を理解し、実践できるために、毎年全職員を対象に感染対策研修を企画・開催しています。今年度は、感染対策の基本である「手指衛生」をテーマとしました。感染対策研修は、「分かりやすく」「すぐに実践できる」内容となるよう心掛けています。

④職業感染防止

職員が安全に働けるように、職業感染防止対策としてワクチン接種の計画・実施を行っています。また、針刺しや、結核・流行性ウイルス疾患による曝露防止対策とともに、曝露があった際の曝露後対応も行っています。

感染対策は、職員全員が正しい知識を持ち、一体となって実践することが重要です。

患者さんやご家族、病院を利用するすべての方が安全に利用できるよう、日々頑張って活動しています。

県立加古川医療センター外来診療表

令和７年９月１日(月)～

			月	火	水	木	金
総合内科	初診		石田	大北	藤田	担当医	中村
消化器内科	１診		垥本(さかもと)	安富	田村	【尹(ゆん)】(再診のみ)	垥本(さかもと)
	２診		廣畑	森口	廣畑	廣畑	安富(午前)森口(午後)
	３診		河原			白川	布目(午後)
循環器内科	１診	再診のみ		担当医		担当医(～14時) 【ペースメーカー】	担当医
脳神経内科	１診		下村	奥田	一角	髙原	奥田
	２診			土田(午前)	下村(午後)		一角
糖尿病・内分泌内科	１診		合田	藤田	田守	石田	樫谷
	２診			大西	稲山		前田
緩和ケア内科	入棟面談		担当医		担当医		担当医
	サポーティブケア外来 (緩和ケア外来)		田中	田中(午後)	田中(午前)		
生活習慣病				【戎谷(えびすたに)】(午前) 【坂田】(午後) 糖尿病・肥満	【合田】 糖尿病・肥満	【西山】 糖尿病・肥満	笠松(午前)
				装具外来 (第2・4午前)			
リウマチ科	１診		中川	塩澤	塩澤	天野	中川
	２診		田中	上藤	青﨑	仲	仲
	３診		仲	吉原	吉原	吉原	担当医
	４診		村田	西田	村田	村田	担当医
	５診		並木		原井川		北野
腎臓内科	１診	午後	藤川	加藤		藤川(2, 4週午前) 加藤(1, 3, 5週) 北浦(2, 4週)	山本(午前)
外科・消化器外科	１診		小林	川嶋	小林	交代制	担当医
	２診		中川	担当医	門馬(もんま)		中山
心臓血管外科				担当医			担当医(午後)
脳神経外科	１診		担当医	荒井	森下	担当医	荒井
	２診			松島	荒井		松島
乳腺外科	１診	再診のみ		石川		石川	
整形外科	初診１診		青木	上藤	高山	市村	中川
	初診２診		高原		北山	神村	
	骨粗鬆症	午後	【上藤】		【北山】		
形成外科	１診		櫻井	交代制	櫻井	櫻井	櫻井
	２診		松葉		松葉	松葉	松葉
	３診		佐竹		佐竹	佐竹	佐竹
	４診		小堀		小堀	小堀	小堀
皮膚科	初診／予診		稲守	永松	南	竹内	稲守
	１診		竹内(午前)	川田	川田	稲守	川田
	２診		永松(午前)	南	永松	南	竹内
眼科	１診		薄木(午後)	薄木			薄木
	２診		徳川	徳川	徳川		徳川(第3)
	３診		秋田(第2・4)				
泌尿器科	１診		担当医	金	田中	担当医	田中
	２診			大場			大場
放射線科	(IVR)		担当医		担当医		担当医
	(治療)		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

予約受付時間　平日 9：00～18：30　土曜日 9：00～11：30(祝日除く)

※各科診療予定は変更される場合がありますので、あらかじめご了承願います。
※【　】は予約できませんが、特別に受診を希望される場合等は、ご連絡下さい。

お願い 患者さんの待ち時間短縮のため、FAX またはインターネットで初診予約をお取り下さい。
インターネットで初診予約を行う場合は、登録医の登録をお願いします。

～地域医療連携部よりお知らせ～

令和７年２月より循環器内科と乳腺外科は新規紹介患者さんの受け入れを停止しております。
ご理解の程、よろしくお願いいたします。